



有松まちづくりの会役員会 (6月26日)

本年度の活動計画の具体案が各担当から出され、有松についての勉強会や町並み保存に取り組んでいる他地域への研修旅行などが提案されました。

また、根尾副会長より5月13日(土)に実施された「今井町重伝建選定30周年記念事業」やその後訪問された妻籠地区の現状についての報告がありました。

東丘小学校3年生 有松を学ぶ (6月6日)

"地域を学ぶ"学習の一環として学年140名の内80名程が有松を訪れました。コロナ禍もあり久しぶりの訪問。総勢15名で迎える有松あないびとの会の皆さんも案内に力が入っているようでした。

各班6~7名。熱心に説明を聞くだけでなく、興味惹かれたことを質問する姿も見られました。事前に質問を考えて有松にやってきたためでしょうか。ガイドの皆さんの説明を必死にメモする姿が印象的でした。



有松駅前での集合風景



山車会館での様子

水無月オカリナライブ (6月11日) 於: 棚橋家住宅

有松の重厚な建物群には芸術がよく似合っています。数年前から"有松町家ライブ"が1・2・7月を除きほぼ毎月行われていることをご存じでしょうか。

6月のライブで、元緑区長 馬淵幸男氏が友情出演としてギターを奏でると聞き、会場を訪れました。30人程が席に着き開演を待っていました。

岸本かず子氏による3オクターブの出る、天を突きさすオカリナの音色。奥田みどり氏によるピアノ伴奏後、馬淵幸男氏のギター演奏が行われました。何よりオカリナとギターの共演は圧巻でした。



演奏会の様子



オカリナ演奏



ギター演奏

《今後のライブ予定》

8月20日(日) 17:00 真夏の宵のJAZZライブ 寿限無茶屋

9月23日(土) 14:00 秋のクラシックライブ 棚橋家住宅

○ まつりに向けて

"賑わいを取り戻そう"とのまつり関係者の強い思いが伝わってきた今年の絞りまつりでした。

一人でも多くの方の有松来訪を願い、事前準備に余念がありません。有松紹介のTV番組もいくつか放映されていました。その一つ東海テレビのスイッチ(5月26日)では「初夏の旅 名古屋/有松巡り」と題して、有松の人気スポット紹介と共に絞りまつりの宣伝も行われていました。(写真左) また、まつりに向け5月28日に唐子車が山車会館から中町山車庫に移動されました。(写真右)

販売準備はもちろん、山車の移動の時の皆さんの表情が生き生きとしていることに気づかされました。絞りまつりは有松にとって欠かすことのできないイベント以上のものようです。



中濱商店にて↑ 井桁屋前の唐子車→



○ まつり当日

すっきりとした青空に恵まれました。早い方は8時頃から東海道を歩いています。時間を追う毎に人混みで歩くのも大変。そんな中を町並みツアーや史跡ツアーが・・・各店舗では格子戸がはずされ、浮世絵に描かれている店頭風景がこの時期だけ見られます。東町では絞りストリート、西町では絞りタペストリーが皆様をお出迎えしていました。



マーチングパレード



緑区観光推進協議会



アリマツマーケット



信長路史跡ツアーと甲冑体験



花魁体験



絞りストリート・町並みツアー



販売風景(絞り会館)



絞り実演



絞会館駐車場で食事風景

《絞り体験》 3か所で体験コーナーが設けられ、多くの人を訪れていました。祇園寺境内では雪花絞り体験①、絞りLab前駐車場では手蜘蛛絞り体験②を実施。早恒染色ではひとランク上の体験として日傘制作③に取り組んでいました。年々体験内容が充実してきているようです。



《山車飾り/からくり実演/大幕展示》 3輦の山車の実演時間になると多くの人が集まってきます。通り抜けるのが大変。カメラマンもいっぱいです。周りには狸々や天狗が・・・中町年行司や西町山車庫では御朱印の頒布。山車会館には布袋車の新調大幕が飾られ、まばゆい光が放たれていました。



カメラマンの撮影風景

新調大幕の展示風景

唐子車↑
布袋車(左)→
神功皇后車(右)
→



天狗



○ まつりを深める

絞り販売だけでなく、「絞り」を正面から見据えた企画：展覧会も開かれていました。今後の有松を考える上で参考となるもののようにも感じました。

《そうなる！？

有松絞りの浴衣展》

有松絞りの浴衣がどのようにして出来上がるか、写真や映像、実物とともに紹介されていました。 岡家住宅



《絞り展覧会》 有松・鳴海絞会館2階/棚橋家住宅

国内外の染織家らが参加した国際絞り会議から30年、国内外で続く活動と作品を紹介。また、職人さんによる括り実演も行われていました。来館者に丁寧に説明され、また来館者も色々質問している姿が多く見られました。



絞り 話題2題

絞り染めを体験したいという人が年々増えてきています。絞りまつりでも本当に多くの人々が参加していました。そのような声に応えようとする記事やパンフレットを紹介します。

◆ オアシス21「体験会」

市の伝統工芸である染め物の体験会が、毎月第2・3月曜日に栄のオアシス21で開かれている。6月12日は有松・鳴海絞の職人 近藤泰仁さんが講師を務めた。参加者は雪花絞りの技法を体験。学校等でも体験会を開く近藤さんは「人と接して教えてもらうことも多い」と語る。



中日新聞 2023年6月13日 記事

■ 名鉄グループマガジン Wind

伝統工芸「有松絞り」。今なお江戸情緒が残る旧東海道沿いの町で、手仕事の技を絶やさぬよう守り継いできた熟練職人と歴史を敬いつつ独自の表現を探す若き作り手たち。広がり続ける「有松絞り」の可能性と未来に迫る。

大須賀彩さんが得意とするのは手筋絞り。自分流にアレンジした作品もある。時代に合ったものづくりを考えている。

有松絞商工協同組合理事長 成田基雄さんは「これからは全工程を自分で・・・のやり方が盛んになる。若い人には新たな表現を生み出してほしい」と。

催事・行事予定

7月10日(月) 18:00 町並み相談会 コミセン

7月24日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

《お願い》

「有松音頭」の歌詞をご存じの方は、広報部 加藤明美までご連絡下さいませ。

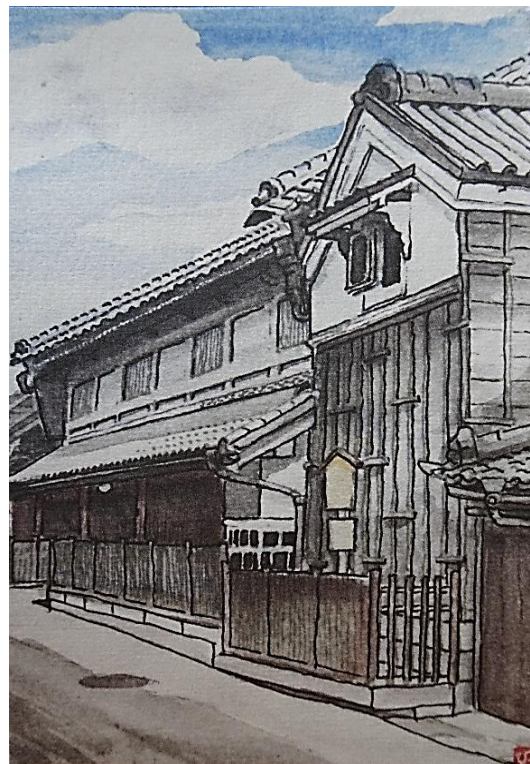
発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

川口廣次の有松街並情景図⑥



完

小塚邸の蔵・卯建



2023年6月号

